

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	メディアの発達によるソーシャル・キャピタルの変質
研究テーマ名	リスク社会におけるメディアの発達と公共性の構造転換～ネットワーク・モデルの比較行動学に基づく理論・実証・シミュレーション分析
研究代表者	遠藤薫
所属機関・部局・職	学習院大学・法学部・教授
研究成果の総合評点：B	
研究成果に係る所見	
<p>研究成果は、自然科学的な方法論を社会科学に持ち込んだこと、及び計算社会学に関わる研究者コミュニティを構築したことであるが、研究テーマである「メディア社会がどう変容したか」と「公共性がどう構造転換したか」という問いに対しては、何の答えも出てきていない。方法論とコミュニティ形成は評価できるが、そのコミュニティが何を目指しているのかについて明確なメッセージが不足している。当該研究で実施したシンポジウムに関しては、何が議論され何が明らかになったかは不明である。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い